

技術経営会議 本会議（夏：軽井沢）

『 新たなる成長軌道 ～ 共創で拓く未来 ～ 』

カーボンニュートラルやサステナブルなどの社会課題に取り組みバリューチェーンとしてつながる中で、経営者も個社から“仲間づくり”へと意識を変化させている。個々が自分の強みを活かしながらチームで共創し、日本を良くする・復活させるというフェーズに入った。今こそ日本が一つとなり未来へ向けて「新たなる成長軌道」を描く時である。日本が価値を提供し世界の国々から評価され信頼され続ける国となるために、我々は何を考え、何に取り掛ければ良いのか、さまざまな分野の有識者を交えて議論していく。

技術経営会議の9月の本会議は、初秋の軽井沢で1泊2日にわたり会員と有識者が一堂に会し、統一テーマにまつわる議論を繰り広げる。産・官・学の幅広い参加者との貴重な交流の機会である。



【特別講演】

- 【開催時期】 2024年9月6日(金)～7日(土) [8日 交流ゴルフ]
 【開催場所】 軽井沢プリンスホテルウエスト
 【参加人数】 200名程度 (23年度実績 202名(現地170名、web32名))
 ※2024年度は交流活性化を図るため現地開催のみとします
 【プログラム】

- ・特別講演 川添 雄彦 氏 (日本電信電話㈱ 代表取締役副社長)
 江田 麻季子 氏 (住友商事㈱ 常務執行役員)
 Anna Kreshchenko 氏 (㈱Flora 代表取締役 CEO)
 小林 敬一 氏 (新議長 古河電気工業㈱ 取締役会長)
- ・専門委員会報告／(2件)
- ・ラウンドテーブル討論 1テーブル30名程度・5テーブル
- ・ポスターセッション
- ・交流パーティー／コテージセッション
- ・プレ・ポストプログラム (テニス(6日, 7日)、ゴルフ(8日))

【お問合せ】 honkaigi@jates.or.jp



【食事会(立食形式)】



【コテージ (宿泊)】



【コーヒーブレイク】

●2024年参加費	会長・議長	役員/役員以外
技術経営会議 会員企業	120,000※	90,000/45,000※
JATES 会員 (法人・個人) (技術経営会議会員会社以外)	宿泊部屋数に限りがございますので個別にご相談下さい。 ✉ honkaigi@jates.or.jp	
JATES 会員外		

※宿泊代値上げのため参加費の値上げとなり、大変ご迷惑をおかけすることになりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い致します。



【オプションプログラム(テニス&ゴルフ)】

2024年 第100回本会議(軽井沢)プログラム

統一テーマ:『 新たなる成長軌道 ～ 共創で拓く未来 ～ 』

於: 軽井沢プリンスホテルウエスト

9月6日(金)	時間	内 容
12:00～12:50	50 分	■技術経営会議審議(昼食含む) ・本会議審議(会員代表者のみ参加) ・運営委員会審議(次期運営委員)
13:00～13:10	10 分	■開会挨拶及び審議結果報告 技術経営会議 小林議長/事務局長
13:10～14:20	70 分	■特別講演1 演題:「新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現-IOWN-」 講師:川添雄彦氏(日本電信電話㈱ 代表取締役副社長) ラウンドテーブル①のテーマ
14:20～15:00	40 分	■専門委員会講演 演題:「事例から紐解く 生成 AI による産業変革の可能性」 講師:野口様、千葉様 委員長:西原基夫 副議長(日本電気㈱ Corporate EVP、CTO) ラウンドテーブル②のテーマ
15:00～15:50	50 分	■休憩(チェックイン) ■ポスターセッション①(説明員あり)
15:50～16:30	40 分	■専門委員会報告 演題:「全てが繋がり融合する時代のサステナビリティ経営の在り方を考える」専門委員会報告 講師・委員長:藤原遠 副議長(㈱NTTデータグループ 顧問) ラウンドテーブル③のテーマ
16:30～17:30	60 分	■特別講演2 演題:「住友商事グループの価値創造ビジョン」 講師:江田麻季子氏(住友商事㈱ 常務執行役員)
17:30～18:30	60 分	■荷物移動(コテージ)・休憩
18:30～20:30	120 分	■交流パーティー(来賓挨拶、利き酒など)
20:40～	一分	■コテージセッション(移動用バスの最終便は 23 時です)
9月7日(土)	時間	内 容
7:00～8:20	適宜	■朝食
8:30～9:30	60 分	■特別講演3 演題:「新たなる成長軌道～ 共創で拓く未来 ～」 講師:小林敬一 議長(古河電気工業㈱ 取締役会長) ラウンドテーブル④のテーマ
9:30～10:10	40 分	■特別講演4 演題:「女性の健康推進が経営課題を解決する道のり」 講師:Anna Kreshchenko(アンナ・クレシェンコ)氏(Flora㈱ 代表取締役) ラウンドテーブル⑤のテーマ
10:10～10:30	20 分	■休憩・移動
10:30～12:30	120 分	■特別セッション;ラウンドテーブル(技術討論) テーブル① ～ テーブル⑤
12:30～14:00	90 分	■移動・昼食 ■ポスターセッション②(説明員あり)
14:00～14:45	45 分	■ラウンドテーブル(技術討論)の概要紹介;テーブル① ～ テーブル⑤
14:45～14:55	10 分	■総括 総括:技術経営会議 小林議長
15:00		■閉会(現地解散・ポスター撤収) コーヒープレイク(自由参加)

プレ・ポストプログラム (ゴルフは別途参加費あり)

9月6日(金)	時間	内 容
10:00～12:00	120 分	○交流テニス 於:軽井沢 PH テニスコート
9月7日(土)	時間	内 容
15:30～17:30	120 分	○交流テニス 於:軽井沢 PH テニスコート
9月8日(日)	時間	内 容
8:00～14:00	360 分	○交流ゴルフ 於:軽井沢72ゴルフ場北コース

第100回本会議(軽井沢) 特別講演 講師紹介

■ 特別講演 1

「新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現-IOWN-」



講 師: 川添 雄彦氏 (日本電信電話㈱ 代表取締役副社長)

1961年東京都生まれ。早稲田大学大学院理工学修士課程修了。

1987年日本電信電話株式会社に入社。2008年研究企画部門担当部長、2014年サービスエボリューション研究所長、2016年サービスイノベーション総合研究所長、2020年常務執行役員 研究企画部門長を経て、2022年6月より現職。

2018 年度(一社)映像情報メディア学会会長、2022年度(一社)電子情報通信学会会長に就任した他、2020 年より IOWN Global Forum の President and Chairperson を務め、グローバルにIOWNの普及・展開を牽引。「IOWN」の名付け親でもある。工学博士。

■ 特別講演 2

「住友商事グループの価値創造ビジョン」



講 師: 江田 麻季子氏 (住友商事㈱ 常務執行役員)

サステナビリティ・DE&I 推進グループ長)

1990年、米国の大学院を修了し、ペンシルベニア州のトマス・ジェファソン大学病院などでマーケティング・アナリストとして勤務。2000年にインテル株式会社へ入社。マーケティング本部長として、ブランド戦略、インターネット・マーケティングなどを統括。2013年10月から2018年3月まで同社の代表取締役社長を務め、退任後2018年から2023年まで世界経済フォーラムの日本代表を務める。2023年11月に住友商事株式会社へ入社、サステナビリティ、DE&Iおよび人事、法務、総務の担当役員を務める。グローバルなビジネス戦略の立案と実行において卓越したリーダーシップを発揮。また、経済的な洞察力和洗練された戦略的思考は、持続的成長と競争力向上へ大きく貢献。さらに、異文化間のコミュニケーション、チームでの共創促進、社内外のステークホルダーとの強いパートナーシップ構築など、倫理的なビジネスを実践している。

■ 特別講演 4

「女性の健康推進が経営課題を解決する道のり」



講 師: Anna Kreshchenko 氏 (Flora㈱ 代表取締役)

ウクライナ国立オデッサ大学の国際関係学部を卒業。2017年に文部科学省の奨学金を受賞し来日。2022年に京都大学法学部卒業。2020年にS&R Foundationに選抜されKingfisher Leadership Programでシリコンバレーに渡航。同年に京都のフェニクシーインキュベーションに選抜。身近な人の妊娠うつ発症により、女性の体とメンタルケアを目的にFloraを日本で創業。2022年に関西経済連合会や関西経済同友会が主催する関西財界セミナーの輝く女性賞を受賞。同年に京都府総合計画策定検討委員会の委員に就任。2024年に「Forbes Japan Next 100」、「Forbes 30 Under 30 Asia 2024」に選出。

お問合せ先 一般社団法人 科学技術と経済の会 技術経営会議 朝倉、志田(憲)、篠原、志田(雅)

住所: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-3-1 飯田橋三笠ビル 2F

TEL: 03-3263-5501 FAX: 03-3263-5504

E-mail: honkaigi@jates.or.jp URL: <https://www.jates.or.jp>

■ラウンドテーブル詳細

①	テーマ	新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現に向けて	
		カーボンニュートラル実現の重要性や昨今の半導体不足、不安定な社会情勢を背景とした日本の経済安全保障の問題など、さまざまな社会課題が浮き彫りになっている昨今、課題解決に必要なことは幅広い研究・技術分野の専門家やグローバルパートナーと連携したイノベーションの創出である。インターネットの時代だった 2000 年代の「数の論理」から、「価値の論理」へと転換を図り勝負していくべきこれからの時代に、必要なイノベーションとは何か、新たな価値とは何かを参加者と共に議論する。	
	モデレーター	寒川 哲臣 氏	先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル
	アドバイザー	川添 雄彦 氏	日本電信電話(株) 代表取締役副社長
②	テーマ	事例から紐解く生成 AI による産業変革の可能性	
		急速な技術進化と適用領域の拡大により、生成 AI が産業変革のキーとなると考えられています。多くの企業・団体では、ユースケース検討や活用推進のためのガバナンスルール作りも進められており、どのように業務に適用し、企業の変革に生かすのか具体的な検討が進められるようになってきました。今回は生成 AI の導入事例や、NEC における活用事例、技術開発状況を紹介すると共に皆様と共有し、生成 AI による産業変革の可能性と課題を議論します。	
	モデレーター	藤沢 久美 氏	株式会社国際社会経済研究所 理事長
	アドバイザー	千葉 雄樹 氏	NEC デジタルプラットフォームビジネスユニット BluStellar 事業推進部門 NEC Generative AI Hub 統括部長 Generative AI Chief Navigator
	アドバイザー	西原 基夫 氏	NEC Corporate EVP、CTO、技術経営会議 副議長
③	テーマ	「攻めの」サステナビリティ経営で世界をリードするための課題と戦略	
		企業によるサステナビリティへの取組みが進む中、今はまさに「掛け声」から「実業」への分水嶺と言える。今後、日本が当分野で世界をリードするためには、ビジネスの創出を通じた儲けるための仕組みづくり、いわば「攻めのサステナビリティ」にシフトすることが求められる。先進企業の実例や欧州委員会の取組みを紹介しつつ、日本の強みを生かし当分野で世界をリードするためには何が必要か、参加者とともに議論する。	
	モデレーター	藤原 遠 氏	(株)NTT データグループ 顧問、技術経営会議 副議長
	アドバイザー	磯貝 友紀 氏	PwC Japanグループ サステナビリティ・センター・オブ・エクセレンス リードパートナー
	アドバイザー	西口 尚宏 氏	一般社団法人 GEN Japan 代表理事
④	テーマ	日本復活に向けたイノベーション共創の期待と課題	
		失われた 40 年を阻止し、再び自信を取り戻して世界から尊敬される日本へと復活するために、①技術進化を通じて社会的意義を創出し持続可能な成長を目指す企業文化をいかに構築するか、②働く人々の幸福と成長を優先する企業運営をいかに成すか、③新しい価値創出を目指し企業・業界・領域を超えた共創関係をいかに構築・機能させるか、などについて議論する。	
	モデレーター	北口 貴史 氏	AKKODiS コンサルティング(株) テクノロジー統括 シニアエキスパート
	アドバイザー	小林 敬一 氏	古河電気工業(株) 取締役会長、技術経営会議 議長
⑤	テーマ	Well-being の力で、100 年後も持続する会社を築く	
		人口減少を筆頭に目まぐるしく降りかかる社会課題の影響で、大企業でさえ「これまでのやり方は通用しない」と叫ばれる。Z 世代のスピード離職が注目される中で、Well-being やダイバーシティに取り組むことで、持続可能な組織をどのように構築するべきか議論する。	
	モデレーター	大高 晋子 氏	(株)明電舎 経営企画本部 事業開発部 専任部長
	アドバイザー	Anna Kreshchenko 氏	Flora(株) 代表取締役

【ポスターセッション】

ポスター発表案件は下記の 10 件となります。ポスター展示場所は、本会議会場の後方左側から順番になっております。ポスター配置図は、当日、スクリーンで投影いたします。ぜひ、活発な議論をお願い致します。

No.	発表者	ポスター案件
1	(一財)新システムビジョン研究開発機構	・ RISC-V システム設計プラットフォーム ・ RISC-V 設計拠点@東京科学大学
2	secondz digital(株)	・ 生成 AI の有効活用と AI ネイティブカンパニーへの道
3	東北大学（安東教授）	・ 国際頭脳循環プログラム G-RIPS Sendai（研究テーマご紹介）
4	富士通(株)	・ Fujitsu Kozuchi AI 導入をスモールスタート、お客様と共に最適解を見つけていく
5	古河電気工業(株)	・ IOWN 構想内の製品群 ・ BRACE® シリーズによる xEV 向けレーザ加工ソリューション
6	横河電機(株)	・ 横河電機株式会社 技術開発テーマのご紹介 ・ コテージセッション スピニアウト企画 研究開発マネジメントについて語らう会
7	川崎重工業(株)	・ 川崎重工の DAC Direct Air Capture システム
8	大成建設(株)	・ 外装一体型太陽電池モジュールの実用化と建物への実装
9	王子ホールディングス(株)	・ 王子薬用植物研究所株式会社の紹介 ～カンゾウ大規模栽培の実現～
10	鹿島建設(株)	・ OPSODIS 1 3D サラウンドの常識を覆す 世界初のバイノーラ原理によりスピーカー

以上